「大森ドキ☆ドキ」九星3ヶ月占い

＊2009年　7月〜9月＊

高田紫夾先生●
●大田区在住。風水・家相・引越し・方位・恋愛・仕事・悩み相談受付中
★http://shiou168.blog105.fc2.com/

一白水星（いっぱくすいせい） バリバリ活躍 秋を待たずに 収穫得る 笑顔の気配り が要のとき	二黒土星（じこくどせい） 喜びごと多く あるも　運気 は晴れ後曇り 模様　夏の疲 れに注意を	三碧木星（さんぺきもくせい） 守備こそ最大 の攻撃なり 自分を見つめ 直して一皮む ける夏
四緑木星（しろくもくせい） 秘密ごとはタブーのとき ストレスがたまるも大掃除で運気アップ	五黄土星（ごおうどせい） 新しいサイクルの始まり 夢の実現への 種まきと水や りを忘れずに	六白金星（ろっぱくきんせい） ものごと順調 にすすむとき 感謝を忘れず に過ごしてな お開運
七赤金星（しちせききんせい） ここがひとつの正念場　や っただけの成果あり　迷わ ずチャレンジ	八白金星（はっぱくどせい） 願いごとが叶うとき　秋以 降も多忙の予 感　8月は多 めに休養を	九紫火星（きゅうしかせい） 悩みに悩んで ふっきれる 太陽に負けず 熱く燃える夏 過労に注意

九星の出し方

❶(昭和または平成)で生まれた年の数字を足して、ひとケタにする。❷12もしくは3から、❶で出した数字をひく。
例）昭和51年生まれ　5+1=6　12−6=6　六白金星
1/1〜2/3までに生まれた人は、ひとつ前の九星になります。

わたしたちの内川

vol.20

GENIUS LOCI: OOMORI
大森の地霊

◀桜のプロムナードとして整備されている

大森には、人のいとなみが土地の記憶（地霊）として残っています。今回は、大森西から東京湾と注ぐ内川の歴史と、周囲の人たちの思いに迫ります。（文=クラカタヒロシ+たかだあや）

▲新田橋から内川を臨む。夕方には釣りを楽しむ人々も。

源流は　はるか馬込

JR東海道本線のガード下から、大森西のまちの真ん中をほぼまっすぐ東に向かって流れ、東京湾に注ぐ内川。流路延長1・55キロメートル、流域面積3・25平方キロメートルほどの川だが、それ以前は全長4・9キロメートルにも及ぶ川であったという。現在の流れも、一九一七（大正6）年の耕地整理により生まれたもの。かつては山王・馬込・池上の沼や湧水を集めて流れる3つの川が現在の富士見橋の南側で合流し、大森町商店街のやや北側を流れ、大森町駅付近で北に進路を変え、旧東海道に架かる内川橋を横断して、海に注いでいたという（下図「内川の源流を歩く」参照）。現在は暗渠となった上流部は、馬込や山王の地形の中にあっても比較的ゆるやかな道になっており、梅の木通り、桜並木通り、観音通りなどそれぞれ特徴ある道になっているのも面白い。

暮らしを照らす川

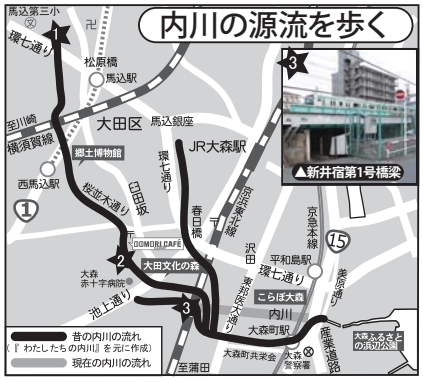
内川は周囲に暮らす人々の、生活のありようをいつも照らし出してきた。

内川は東京湾からの海水が満潮時にさかのぼってくるために魚や貝、鳥などが集まってくる。自然に恵まれ、周囲には海苔生産者や漁師が多かった。一方で、農業用水としては適さず、代わりに六郷用水が用いられた。水道が整備されるまでは、内川上流の水は周辺住民の飲み水にも多用されており、内川の境橋上流の堰で水を汲む「水屋」も生業として存在したという。

耕地整理に伴って水深が深くなった内川には、海苔船や漁船の往来が可能になり、漁業権を放棄した一九六二（昭和37）年まではその姿が見ることができた。

しかし高度成長期にかけて、内川の水質の悪化が深刻化する。雨天時には、雨水と家庭からの生活雑排水が一緒になった合流管と呼ばれる下水管からあふれた水が川へ流れ込むのも、水質を悪化させる要因だった。一時は暗渠化し下水道として整備する計画もあったものの、一九九二（平成4）年に取り止めとなり、川のある風景が残った。

一〇〇（H12）年には、東京都、大田区と周辺住民による内川流域連絡協議会が発足。内川の護岸整備計画や遊歩道の整備計画、浄化施設や水辺の生態系を考慮した環境整備計画などについて、行政と地域住民が意見交換することとなった。そのひとつの成果が、今年3月に開桜小学校沿いに完成した遊歩道「桜のプロムナード」である。桜の植栽のほか、ベンチや解説版も設置され、新たな憩いの場が生まれた。



▼内川の源流であることを示す案内板（大田区北馬込2）

愛情が注がれ続ける川

「人間のそばから始まっています」一九八二（昭和57）年度当時、大森第二小学校4年2組の父母と担任教員で作った冊子『わたしたちの内川』の巻頭言だ。『わたしたちの内川』は、地域になじみの深い内川と六郷用水の歴史や生態、そして周囲の人たちの暮らしぶりを丹念な聞き取りによって描き出した労作である。同書は時代の移り変わりとともに、新しい研究成果を加えては周辺住民の手によって繰り返し再版されてきた。大森第二小と第六小の統合により生まれた開桜小5周年を記念して編まれた『わたしたちの郷土』も同書がベースで、副読本として同校で使用されている。巻頭言は続く。内川が汚れ、六郷用水は姿を消した現在も「わたしたち大森の人は、これらの川をいつまでもわすれることはできません」「よい町をつくるためわたしたちは自分の町を流れる川のことをしっかり知っておきたいと思います」。これだけの愛情を注ぐ人たちが絶えないことこそ、内川の何よりの特徴である。■

▲開桜小学校前に新設された、遊歩道と案内板

【参考文献】
『内川河川整備計画 東京都 2006
内川連絡協議会ホームページ
http://www.kensetsumetro-tokyo.jp/kasen/yuiki/06/uchiwa-title.htm
『わたしたちの内川』内川・自然を愛する会 1988
『わたしたちの郷土』大田区立開桜小学校地域連絡協議会 2007
「大田区報」09年5月1日号

まちあるき小ネタ ⑳ 祝！ワールドカップ出場！

投稿：中央 O.U.さん
◆南アフリカにシュート！
○ゴーーーーーール!!!

（つづく）小ネタの場所はウェブ［www.oomori-cafe.com］でこっそり公開。

2面のご案内

ひとのいとなみ

現地で感じとることのできる地霊（ゲニウス＝ロキ）。大森というまちをかたちづくってきた、ひとのいとなみに迫ります。あわせて、読者の目線からの「口コミの紙面化」もめざします。

バックナンバーはウェブで！

19号○2009年4月
産業発展を支えた橋
［松原橋の歴史］
18号○2009年1月
大森シネマパラダイス
［大森の映画館の歴史］
17号○2008年10月
発車オーライ！バスと大森
［大森の路線バスの歴史］
16号○2008年4月
海苔の記憶、海苔の記録。
［大森の海苔を後世に伝える試み］
www.oomori-cafe.com

大森・暮らしの歳時記④ ── 海苔簀編み

大森海苔のふるさと館での「海苔簀編み」体験

海苔のオフシーズンである夏も海苔漁家は休まず、冬に向けて道具作りに余念がありません。海苔を干すのに使う海苔簀（す）もそのひとつ。簀編み台の上でツツロと呼ばれる糸巻きを交互に動かし、乾燥させた竹と葦（アシ）を綾まないようしっかり編み込んでいきます。

寛文九年創業
海苔の松尾
大田区大森東1-6-3
TEL 03-3762-0656
営 10:00〜19:30
休 不定期

私のまわりはストレス「0（ゼロ）」
講座開催！
HAPPYコミュニケーションの極意
毎月 第三水曜日 昼の回 11時〜　夜の回 19時〜　60分 参加費 3000円　各回先着8名限定
場所：アクエリーナ（詳細はアクエリーナのHPをご覧ください）
ライフスタイル研究所 所長 平林 寛
お申し込み・お問い合わせ e-mail hirarin831@dj.pdx.ne.jp TEL 070-6401-1655

ヒーリングサロン
Aquarina アクエリーナ
シータヒーリング／ホメオパシー
TEL 03-3776-0820
http://aquarina.net/
Bach ORIGINAL FLOWER REMEDIES
〒143-0026 東京都大田区西馬込1-23-15-304

水出しコーヒー、冷えてます。
── アイスコーヒーも── 大和屋の木炭焙煎珈琲で
珈琲豆と器の店 大和屋
〒 大田区大森西4-12-9 東邦医大通り「大森西4丁目」バス停そば
TEL&FAX 03-3298-8988 営 10:00〜19:00 休 日祝